



2016年 中四国医系学生のつどい

## チーム医療・多職種連携

～山陰の地域医療に触れてみよう～



カンファレンス実践①



カンファレンス実践②



感想交流



各県発表(奨学生活動報告)



閉会式



デスケースカンファ

5月14～15日に鳥取県の米子市で、中四国医系学生のつどいが行われました。今回のつどいには約30名の学生が参加し、大いに学び交流を深めました。(島大からは3年生2名、4年生1名が参加しました！)

今回のテーマは「チーム医療・多職種連携～山陰の地域医療に触れてみよう～」。1日目は6つの分科会に分かれて米子の診療所に見学に行ったり、実際に行われているカンファレンスを体験するなど、チーム医療や多職種連携についてしっかりと学びました。2日目は弓ヶ浜診療所の梶野先生が「山陰土着家庭医の眺め」と題して、先生が行われている診療の様子をたくさんの写真を交えながらユーモアたっぷりにお話して下さいました。米子という地域を越え、患者さんの希望に寄り添った診療をされている先生のお話を聞いて、家庭医が地域で担う役割の大きさを改めて感じる事ができました。1日目の夕食交流会の各県発表では、島根の奨学生が日ごろ行っている奨学生活動について発表しました。また、今回副実行委員長として参加した学生は、閉会式で2日間のまとめをしっかりと述べてくれました。

島根の学生も運営側として参加した今回のつどい。他県の学生と一緒に、コミュニケーションをしっかりとって多職種と協力しながら診療を行うことの大切さをしっかりと学び、とても充実した2日間となりました。

